

《令和6年度大洲市病院事業会計決算》

問 病院会計だけのことではないが、人事院勧告により、年々職員の給与は上昇の一途をたどっている。人件費の抑制を行うために、人員削減も考えているのか。

答 現在、院内各部署において、業務内容の洗い出しと見直し等を進めており、職員が一体となって部署別における適正な配置人数等の調査・研究を行っている。職員数を削減することにより、残った職員の負担が増えて、新たな離職を生むことにならないよう適切に対応していきたい。

問 今後、人口減少が進むにつれて、患者数や医療スタッフも減少していくことが見込まれる。市内の他の医療機関と今後の展望について協議する機会もあると思うが、市立病院としてどのような展望を持っているのか。

答 医師不足など、当院を取り巻く環境は非常に厳しいものであると考えている。当面の対策として、令和6年3月に策定した経営強化プラン等に基づき、地元の医療機関との連携強化なども含めて経営努力をしていきたいと考えている。

要望 経営改善に努めるとともに、訪問看護など、市民にとって必要とされている医業外事業の充実にも努めてもらいたい。

産業建設委員会

委員長 安川 哲生

《令和7年度大洲市一般会計補正予算》

◆鹿野川温泉源泉ポンプ等取替工事費について

説明 鹿野川荘に温泉を供給している鹿野川温泉の源泉設備が、平成11年の設置から25年経過し、経年劣化の進行による老朽化が著しく、源泉を汲み上げる揚水能力が低下しているため、源泉ポンプ等の取替工事を実施しようとするもの。

問 水中ポンプは1台のみで、予備のポンプはないのか。

答 今回の予算要求としては、現状の水中ポンプ1台を取り替えるもので、揚水量の減少などの変化を日々注視しながら、異常があれば早急に対応していきたい。

問 ポンプの取替工事にはどの程度の期間が必要なのか。

答 工事発注後、資材が揃えば工事自体は3日程度

で完了すると考えている。鹿野川荘の繁忙期を避けるなど、適切な時期を考慮して工事を実施したい。

問 利用者数の増加や知名度向上に向けて、取り組んでいることはあるか。

答 鹿野川温泉の泉質は、低張性アルカリ性冷鉱泉で、pH10となっており、滑らかな湯触りで美肌効果や疲労回復などの効能もある。利用者アンケートにおいても、滑らかな泉質を評価いただくことが多く、この美肌の湯の特性を活かし、若い女性層をターゲットにして、健康や美肌をテーマにしたツアー商品の開発を検討している。令和6年度の宿泊者は年間約3,000人、日帰り入浴客が約25,000人となっているが、鹿野川温泉の認知度を高めるため、ホームページやSNS等を活用した広報戦略に加え、旅行代理店への売り込みも考えている。

◆市道の路線認定について

説明 東大洲地区の旧松下寿跡地の市道2路線について、大洲市市道認定基準等に基づく規定要件を満たし、市民生活や交通に必要と認められるため、議会の議決を求めるもの。

問 議会で承認された場合、いつ頃から市民の方が市道を利用できるようになるのか。

答 供用開始日については、議決日となるため、今定例会で議決いただいた場合は8月19日となる見込みである。一般開放の時間帯は、議会の閉会後となるため、同日の夕方以降になる。

問 行き止まりのような箇所もあるが、誤って通行してしまった場合の対応は考えているか。

答 開発道路の開発基準に基づき、転回広場が設置されている。

問 出水期には防水壁の閉鎖に伴い交通規制をする必要があると思うが、事業者等と話し合いはできているのか。

答 本議案の認定と同時に通行止めに関する協定も進めており、今後の防水壁の開閉操作については事業者が行う予定である。

要望 開閉操作は事業者が行うとしても、市は道路管理者でもあるので、事前に警察と十分相談のうえ、管理面において遺漏のないようにしてもらいたい。

《令和6年度大洲市工業用水道事業会計決算》

問 大洲バイオマス発電所までの配管工事は全て発電所が実施し、その後に市に移管されるという話